

【発行元】全国大学生協連関西北陸ブロック

開催概要

日程：2019年6月30日(日)

場所：京都国際会館 アネックスホールなど

獲得目標

- ・一年生は、自身の経験をもとに、大学生協が新学期活動を行う意義を理解して、2020年度の新学期活動のスタートを切る。
- ・上級生と職員は、持ち寄った2019年度の新学期活動の振り返りから現状を知り、2020年度の新学期活動につなぐ
- ・参加者全員がそれぞれの立場を越えて、2020年度の新学期活動に向けたヒントを学び合う。



参加者（カッコ内は人数）

職員（102） 学生（213） その他（89）

計48会員404名

01 開会式

職員と学生がともに作り上げる

実行委員長の國見常務（京大生協）から、開会挨拶として、新学期活動は職員と学生と一緒に取り組むことが大切だということ、さらに、このセミナーも職員と学生と一緒に作り上げてきたことが語られました。



この場には、いろんな大学生協の様々な立場の人が集まっています！

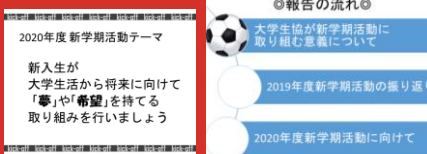


02 基調報告

2019年度を振り返り、2020年度を見据える

2019年度の方針などをもとにして成果や課題を振り返る中で、具体的な取り組みを伝えました。さらに2020年度新学期活動のテーマと、それを実現するための5つのポイントを発表し、このあとの全体報告や分科会で意識してほしいところを全体で共有する場となりました。

大学生協が新学期活動を行う意義はたくさんあるんです！まずは根本をおさえましょう◎



03 全体報告 （同志社生協）

ALL同志社で取り組む新学期活動

基調報告での2019年度の成果や課題、2020年度のポイントに関する多くのヒントが隠されている報告でした。**職員と学生が力を合わせて新学期活動を行った**ということもあって、報告も職員と学生で行われ、その後の意見交流の時間をより活性化することにもつながりました。



学生のメッセージは**これから新学期活動に関わる後輩に響いた**と思うし、職員の新学期事業を広い視野で捉えられるようになってきたという気持ちの変化、**職員としての向き合い方のヒント**が隠れているなど感じた。
(同志社生協職員)

04 分科会①

ブロック全体の幅広い活動から学び合う

2019年度の成果や課題、2020年度のポイントに関連した20の分科会を設けました。職員と学生で発表が行われたところも少なくなく、内容も作りこまれたものとなっていて、2タームだと足りない！という声も聞かれました。2020年度に向けたヒントを得るとともに、立場の違いから生まれる考え方の違いの面白さに気づく参加者も数多くいたようです。



0を1にするのは難しいけど、実際に踏み出すことで何かしら得ることができると改めて思いました。また、周りの人とのディスカッションで同じことを言っても違う観点から見たりして面白いなあと思いました。
(立命館生協1年生)

05 分科会②

大学生協が新学期活動に取り組む意義って？

分科会の1つに、基調報告でも触れた、大学生協が新学期活動に取り組む意義について改めて考えてみるコーナーを設けました。他大学の取り組みを知ることも大切ですが、根底にあるその意義について話し合うことで、1年生は意義を捉えるきっかけに、上級生と職員は意義の捉え方を深め合うことができました。



3回生で、何度も新学期を経験していますが、何回経験していても話すべきトークテーマだと思いました。根本を理解すると、新学期活動に深みが増すと感じました。分かっているようで、しっかり言語化できないようなことを意識することはとても大事ですね。
(奈良県立大学生協3年生)

06 大学生協ごとの時間

いよいよ2020年度新学期活動のキックオフ。

セミナーが始まってから初めて参加者が自大学生協ごとで集まり、職員と学生で今日の学びや気づきを共有し、2020年度新学期活動に向けて何をするかを決めていきました。キックオフができた大学生協から解散という形を取りましたが、会場閉鎖時間ぎりぎりまで残って話し合っている大学生協が多く、今後の動きに期待を感じさせる時間となりました。ブロック事務局はみなさんの今後をしっかりとサポートしていきます！！



それぞれの大学生協がそれぞれのカチでキックオフしました◎いや～とってもワクワクしますね！

+A オptional コンテンツも充実！

冊子・動画・ポスターに加え、大山試飲会も！

お昼休みには大山コーヒーを用いた試飲会を開催。とっても盛況で賑わいを見せました◎ さらに、実際に新入生に配布した冊子や、取り組みの中で流した動画、取り組みを紹介したポスターなど、新学期活動に関わる様々なものを参加者から持ち寄っていただき、休憩中には積極的な交流をしている姿も見られました。持ち寄っていただいたみなさん本当にありがとうございました！！



職員とともに取り組むことが大切だという点は試飲会も新学期活動も同じなのです(^_^)



2020年度 新学期キックオフセミナー 企画局長
関西北陸ブロック 学生事務局
[橋爪 遼太郎]